

# 奥会津だより



かたくなに冷たかった畑の土もぬくもり  
遅霜を除ける囲いの中の苗床も  
緑濃く苗が伸びてきた  
さあ！土との蜜月が始まる。



写真：田沼隆之

# ゼンマイ採りの思い出

只見町立朝日小学校 五年 吉津 花恋

この写真は、私のおじいちゃんとおばあちゃんが、昭和五十八年ごろにゼンマイ採りが、さかんに行なわれていた時代のものだそうです。そのころは、どこの家でもゼンマイ採りをしたそうです。

雪が消えるのをまって五月ごろ山にいつせいにゼンマイが出ます。それをおじいちゃんが、夜明けに行き五十キロぐらい採って来たそうです。ゼンマイにはわたがあるの

で、わたを取って太いのと細いのをより分け、そしてゆであげ庭にむしろをして、時々もんでゼンマイを干し、



それは三日間もかかるそうです。そしておじいちゃん、ゼンマイを採る仕事でおばあちゃん、それを干す仕事だっただけです。この仕事は、十五日も続いたそうです。そして干したゼンマイはゼンマイ買いに買ってもらい、ぜに

をもらったそうです。ゼンマイの仕事を終えると田植えが始まったそうです。

ゼンマイは、雪の多い地方の方が太くておいしいそうです。

五十キロのゼンマイを車がある所まで一キロほど背負って歩いて来たそうです。私はゼンマイの煮物が大好きです。だけどこれほど大変な仕事だと言うことを知りませんでした。

これからは、おばあちゃんのゼンマイの煮物を食べる時は、この話を思い出して食べたいと思います。

話を聞いた人  
おじいちゃん昭和七年生まれ  
おばあちゃん昭和十年生まれ

## 取材ノート



祖父：馬場 正毅さん

(昭和7年2月18日生83歳)

祖母：馬場 八重子さん

(昭和10年1月6日生80歳)

孫：吉津 花恋さん(11歳)

(朝日小学校 6年)

集落があつたんです。

Q：何という集落ですか？

正毅さん：マナガワと言ってます。その辺り二キロぐらいは「通い山」って言ってこの集落からもその村からも行ったんです。

Q：マナガワは、何戸あつたんですか？

正毅さん：十二、十三戸あつたと思います。「通い山」っていうのは、ゼンマイだけでなく、ウド、ワラビ、コゴミ、ウルイとかつているいろいろな山菜もあつたからそれを採るために、誰が採ってもいいように村で決めておいたんです。

Q：盛りの時は、ここから歩いて通ったのですか？

正毅さん：もちろん、歩きです、後で自転車というのも出てきたけれど、車なんかは一台もありませんでした。

Q：「雪が消える頃」というのは？

正毅さん：だいたい五月の十五日頃からゼンマイ採りは始まったんだな。

八重子さん：雪が浅いと早く行かれる。

正毅さん：そして、そこから奥の山は五キロも八キロも沢を上って行って、そこ

は「泊まり山」、その時期だけ、小屋をかけて、うちの親たちは行ってましたよ。カヤで造った小屋でした。



Q：沢をいくつも越えて行って、帰ってくる。雪解けの時期で危険なのは？

正毅さん：何年か一回は事故があつてわかるだけでも三、四人は亡くなっているな。

Q：花恋さん、じいちゃんやばあちゃんの話聞いてみてどうですか？

花恋さん：ゼンマイを採る時に、小屋を建てたりするというのは、初めて聞きました。

(写真：文責：菅 敬造)

※花恋さんが、「おとなになっても只見町から離れたくない。」と言ったのが心に残りました。

## 不思議な話

栗城ナミ子さん (昭和12年生まれ・昭和村)

昔、大芦から体の弱い娘をおぶって、金山の八町か川口の医者に連れて歩いていたらかさまがいた。歩きだから帰りは夜になつてしまふ。その日も娘おぶって帰る途中に、すっかり夜になつた。昭和村の下(しも)から大芦まで戻ってきて、今の「昭和の森」の手前まで来たら、見たことのないきれいな道があつた。「おや、こんないい道できたんだわ」と思って、ふつと道のそばに腰をおろしたら、すうつとその道が消えた。それで、そのかさまはハツとしたつて。もし、腰かけないでその道まっすぐ歩いていたら、キツネに連れて行かれてあちこち引き回されたに違いない、きつと戻ってくることはなかつただろう、と。

(採録：渡部 和)

## 奥会津の食材と料理



ココミのキムチ和え

萌え出た緑はいのちそのもの。  
春の山菜の中でもアクのないココミは、味噌汁から炒め物と料理のバリエーションが広く、子どもたちにも好まれる。  
固めにゆでたココミを、刻んだタマネギと一緒にキムチで和えただけの一品。採ったばかりのさわやかな食感と鮮やかな緑を、サラダ感覚で食す。

## 暦に添う暮らし

百五の霜別れ



雪の深い奥会津では、節分から105日が過ぎると、霜の被害ともようやく別れることができると、この日を境に苗の植え付けを始める。とはいえ、温暖化の影響で八十八夜を過ぎた頃を目安にする人も多くなった。霜と別れると、いよいよ田畑に活気が戻ってくる。農作業の開始は、雪から解放されたはじけるような気持ちと共に一気に広がっていく。

## 奥会津の生き物たち

クロツグミ



黒と白のシックなすがたの夏鳥。さえずりは国内の野鳥のなかでもトップクラス。日本三名鳥に入らないのが不思議なくらい。その美声は遠くはなれていても響きわたる。朝もやの森林のなかで聞くと、身も心も洗われる。

(鳥と花の写真・文：新国 勇)



コシノコバイモ

カタクリに混じって咲くユリ科の植物。花被片の縁にあるくし状のぎざぎざが特徴。日本海側の積雪地帯に局地的に分布するが、奥会津ではふつうに見られる。「越の小貝母」と書き、越後の小型の貝母という意味。

## 軒先の風景

写真・文 竹島 善一

民家の一隅を飾る造作物であるが、これは見事なものである。  
寿(ことぶき)と切り抜いた文字と、吉祥(きつしょう)の図柄は額に収まっている。社殿差ながらの造りも本格的で格調がある。  
板戸の障子に漆喰の白。祈りと実用があいまって銘品だ。



# Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「ほおける」

ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、三島町の「桐の茶筒(グッドデザイン賞)」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979  
奥会津書房 宛

●応募締切：2015年6月20日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号87号で発表いたします。



◎85号「としよばあちゃん」の答え：「曾祖母」

たくさんのご応募ありがとうございました!

# 読者コーナー



## お便り紹介

- 一面の写真は本当にすばらしいです。季節は「奥会津だより」とともにやってきます。聞き書きもほほえましく、若い人の力を感じます。「…の暮らし」シリーズもまさに日本の原風景ですね。(千葉県柏市：T・Sさん)
- 「聞き書き百選」でクラブ活動の記事を目にしたのは初めてだと思います。現在の子どもたちに色々な意味でも聞き書きの活動を続けてほしいと思います。(東京都足立区：M・Iさん)
- 埼玉の方に嫁いで来ましたが、水場のある暮らしはとても懐かしいです。人間と水は切っても切れないものですが、それを生活の中に取り入れる田舎の人はすばらしいと思います。(埼玉県川口市：F・Kさん)
- 本当に毎回懐かしい記事に感心いたします。私たちの年代には手に取るような思い出です。(只見町：K・Kさん)

## 奥会津だより 定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

# 奥会津大学



平成27年度第6期講座の受講生を現在募集中です。

- ・コース受講締切：6月10日(水)
- ・単回受講締切：各講座開催の3日前まで

	タイトル	講師	開催日	時間	受講料	会場
直近講座のご案内	公開講座「うんこはごちそう」 ～自然との共生を実現するために～	伊沢 正名 氏	6月7日(日)	10:00～13:00	無料 申込み不要	三島町交流センター山びこ
	生業と共有地(コモンズ)、村の境界 奥会津の森の魅力を再発見する ～森の保健休養効果を見つけよう～	菅家 博昭 氏	6月17日(水)	9:30～17:00	500円	三島町交流センター山びこ
		上原 巖 氏	6月21日(日)	10:00～17:00	500円	只見町森林の分校ふざわ

詳しくは奥会津大学実行委員会まで (TEL.0241-57-2240)

## 奥会津イベント情報

5月中旬～7月

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
5月21日(木)	第35回尾瀬 山開き	檜枝岐村	檜枝岐村御池	檜枝岐村役場企画観光課 ☎0241-75-2503
5月24日(日)	大嵐山・湯ノ倉山 山開き	館岩地域	湯ノ花温泉交流センター	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
5月30日(土)～5月31日(日)	みなみあいづワルトら物語(春)	伊南地域	伊南総合支所前	南会津観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
6月6日(土)	うつくしまみずウォーク2015赤べこの里やないづ大会	柳津町	道の駅「会津柳津」	柳津町役場地域振興課観光商工班 ☎0241-42-2114
6月6日(土)～6月7日(日)	風っこ只見新緑号運行	只見町	JR只見駅前広場	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
6月7日(日)	志津倉山 山開き	三島町	間方地区 志津倉山登山口	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
	御神楽岳 山開き	金山町	御神楽岳	金山町観光物産観光協会 ☎0241-42-7211
	蒲生岳 山開き	只見町	蒲生集会所施設「雪の里」	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
塩沢山の幸山菜まつり	塩沢農村公園		塩沢観光協会 ☎0241-82-2458	
6月13日(土)	ひめさゆりの郷ウォーク	南郷地域	南郷スキー場駐車場	南会津観光物産協会南郷観光センター ☎0241-64-5811
6月13日(土)～6月14日(日)	第29回ふるさと会津工人まつり	三島町	三島町生活工芸館	三島町生活工芸館 ☎0241-48-5502
6月14日(日)	南郷ひめさゆりバイクミーティング	南郷地域	南郷スキー場駐車場	南郷ひめさゆりバイクミーティング実行委員会 e-mail: rider@hanaizumi.ne.jp
	第27回只見湖岸健康マラソン大会	只見町	只見町	只見町教育委員会 ☎0241-82-5320
	会津朝日岳 山開き		会津朝日岳赤倉沢登山口	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
6月20日(土)	尾瀬国立公園田代山 山開き	館岩地域	猿倉登山口	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
	ひめさゆり祭	南郷地域	高清水公園ひめさゆり群生地駐車場	南会津観光物産協会南郷観光センター ☎0241-64-5811
6月20日(土)～6月21日(日)	只見山菜満喫号運行	只見町	JR只見駅前広場	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
	ようこそ只見線雪むろまつり&キャンドルナイト		JR只見駅前広場	雪むろ実行委員会(青少年旅行村) ☎0241-82-2432
6月21日(日)	七ヶ岳 山開き	館岩地域	館岩地区たかつえ木工センター	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
	浅草岳 山開き	只見町	浅草岳只見沢登山口	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
6月28日(日)	三ツ岩岳 山開き	伊南地域	三ツ岩岳登山口	南会津観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
7月4日(土)	湯ノ岐川溪流釣り大会	館岩地域	湯ノ花温泉滝見橋付近	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
	第45回会津駒ヶ岳 夏山開き	檜枝岐村	会津駒ヶ岳	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
7月5日(日)	第14回燧ヶ岳 夏山開き		燧ヶ岳	
7月11日(土)～12日(日)	第2回 山コン@尾瀬檜枝岐	伊南～只見	7/11中土合公園 7/12尾瀬	檜枝岐村役場企画観光課 ☎0241-75-2503
7月18日(土)	伊南川 鮎釣り解禁		伊南川	南会津西部非出資漁業協同組合 ☎0241-72-2110
7月18日(土)～7月19日(日)	第30回からむし織の里フェア	昭和村	道の駅からむし織の里しようわ	からむし織の里フェア実行委員会(昭和村商工会内) ☎0241-57-3100
7月25日(土)	第20回会津高原たてい夏まつり	館岩地域	たかつえスキー場スペース	南会津町振興公社館岩支局 ☎0241-64-5677
7月26日(日)	伊南川清流まつり	伊南地域	伊南川 新伊南川橋下	南会津観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
	こども溪流まつり	館岩地域	しらかば公園	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)  
発行日：5月20日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525  
http://www.okuaizu.net ☎webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。